
2012年度 JSiSE 第1回研究会 プログラム

■テーマ : eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／
医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般

■開催日時 : 2012年 5月 18日 (金) 10:00～17:20 (18:00～懇親会)
5月 19日 (土) 10:00～14:20

■会場 : 放送大学 (千葉市美浜区若葉 2-11) 西研究棟 8F ラウンジ
<http://www.ouj.ac.jp/hp/gaiyo/gaiyo06.html>
JR 京葉線 海浜幕張, JR 総武線 幕張, 京成千葉線幕張 各徒歩 15分

■主 旨 :

本年度第1回研究会は、「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント／医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般」のテーマで実施いたします。

「eラーニング環境のデザインと組織マネジメント」に関しては、eラーニングを複合的な教育研修メディアと捉える立場から、単なる Web による教材配信にとどまらず、企業や大学における人材開発や組織マネジメントとの連携、学習コンテンツ設計、インストラクショナルデザイン、品質評価、学習者支援、ブレンデッドラーニング、インフォーマルラーニングなどの方法論、eラーニングツール、システム、実践環境に関する提案・開発・応用など幅広いトピックスに関するご発表を募集しました。

「医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育」に関しては、これまで、人を対象とするこの分野には、コンピュータなどの ICT の活用はなじまないとされてきました。しかし、一方では、マルチメディアを活用した eラーニングが多くの医療系大学や病院などに導入され、ICT を活用して膨大な知識の効率的な学習、新しい知識の定着、医療・看護技術の習得などで、高い学習効果が得られたことが報告されています。また、医療人育成のために体系化された教育プログラムにこそ eラーニングや ICT の活用が効果的である、との声も聞かれるようになってきました。そこで本研究会では、医療・看護・福祉分野において求められている高い実践能力をもつ人材の育成やナレッジマネジメント、学習者支援、学習コンテンツの設計、インストラクショナルデザイン、医療サービスの質保証ならびに質評価、eラーニング教材制作、臨床や教育機関での実践・運営環境、著作権処理に関する様々なトピックを扱い、この分野における専門職教育に必要な知識や技能を習得するための ICT 活用教育方法について、議論を進めていきたいと思っております。

なお今回、放送大学 学長 岡部洋一 先生に特別講演をお願いいたしました。こちらも示唆に富んだお話しが期待されます。多くの方々のご参加をお待ちしております。

プログラム

発表時間 : 25分 (発表 17分, 質疑 8分), ○は登壇者

5月 18日 (金)

【セッション 1】 10:00～11:40 (4件)

1. クラウド eラーニングによるクラウド環境構築技術の教育
○松本 哲 (神戸大学)・今井恒雄 (京都情報大学院大学)
2. IMS Learning Design を活用した学習支援システムの提案
○喜久川功・有富智世 (富士常葉大学)
3. SCORM 2004 に対応した Moodle 活動モジュールのインタフェースの開発
○森本容介 (放送大学)・仲林 清 (千葉工業大学)・杉山秀則・芝崎順司 (放送大学)
4. アンケート調査に見る SCORM 規格普及の現状と課題
○仲林 清 (千葉工業大学)

.....(昼休み 60分).....

【セッション 2】 12:40～14:20 (4件)

5. ePub 形式の電子教科書とスマートフォンを用いた教育システムの構築
○奥田茂人・田中恵子 (京都情報大学院大学)・前納一希 (京都コンピュータ学院)・
水谷 亨 (京都情報大学院大学)・河地裕介 (大阪大学院法)・江見圭司 (京都情報大学院大学)

6. 無線 LAN ルータとスマートフォンによる発展途上国の初等教育
 ○田中恵子, 奥田茂人 (京都情報大学院大学)・前納一希 (京都コンピュータ学院)
 水谷 亨 (京都情報大学院大学)・河地裕介 (大阪大学院法)・江見圭司 (京都情報大学院大学)
7. 「学力×人間力」という積で評価するのか?
 ○江見圭司 (京都情報大学院大学)
8. The old-age support learning and development of knowledge base construction
 Laszlo PETHO (Loránd Eötvös University)

.....(休憩 10 分).....

【セッション 3】 14:30～15:30

特別講演
 岡部洋一 (放送大学)

.....(休憩 10 分).....

【セッション 4】 15:40～17:20 (4 件)

9. データマイニングを用いる学習アドバイザー支援システムの検討
 ○豊川和治 (日本大学)
10. 連携教育を支援するユーザの検索意図に基づいた検索システム
 ○長瀬 大 (兵庫教育大学)・大森康正・川崎直哉 (上越教育大学)
11. 知識技能のアウトプットに着目した薬物療法判断能力育成プログラムの開発と実践
 ○大津史子・永松 正・長谷川洋一・灘井雅行・後藤伸之 (名城大学薬学部)
12. 化学構造式学習支援用ソフト「薬兵衛」の作成と試用について
 ○齋藤充生・平 郁子 (帝京平成大学)・頭島 武 (環境未来株式会社)・
 石井 竹夫・稲津 教久・林 譲 (帝京平成大学)

5 月 19 日 (土)

【セッション 5】 10:00～11:40(4 件)

13. 医療系分野の e ラーニングの実践を活性化する取り組み
 ○真嶋由貴恵・中村裕美子 (大阪府立大学)・丹羽雅之 (岐阜大学)・柴田善幸 (産業医科大学)
14. 内視鏡下鼻内手術の遠隔手術手技指導システム：身体技能伝承手法の提案
 ○山下樹里 (産業技術総合研究所)・横山和則 (医療法人健南会花クリニック南大通り)
15. e ラーニングとシミュレーションとのハイブリッド教育に関する実践報告
 ○浅田義和・鈴木義彦・長谷川剛 (自治医科大学)
16. 看護師の学び直し支援プログラム「どこでもカレッジ」の現状と課題
 ○内宮律代・須藤陽子・飯田智恵 (新潟県立看護大学)

.....(昼休み 60 分).....

【セッション 6】 12:40～14:20(4 件)

17. 看護基礎教育での自己学習支援の効果検証
 ○辻 慶子 (北海道文教大学)・小松川 浩 (千歳科学技術大学)
18. IC カード学生証連携レスポンスアナライザを用いた TBL の効果と新たな課題
 (医療系大学における実践)
 ○白嶋 章・宮崎拓也 (株式会社 TERADA. LENON)・鈴木玲子・常磐文枝 (埼玉県立大学)
19. 医療系分野での実習(診療面接・看護実習)における反応収集, 振り返りに活用できる
 PF-NOTE のご紹介
 ○島田 誠 (株式会社 内田洋行)
20. 高等学校教科「情報」支援教材の試作
 ○高田和典 (北海道大学大学院)

教育システム情報学会(JSiSE) 2011年度第6回研究会 報告

開催担当 松永公廣, 西野和典, 西端律子, 鷹岡亮 (研究会委員会)
会場担当 中西通雄, 安留誠吾, 藤井研一, 深海悟 (大阪工業大学)

◆テーマ◆ 情報教育と社会人基礎力／一般

- 開催日 : 2012年3月17日(土)
- 会場 : 大阪工業大学 枚方キャンパス(大阪府枚方市北山1-79-1)
- 共催 : 教育システム情報学会関西支部

大学在学中に社会人基礎力の育成が求められるようになりました。社会人基礎力(アクション, シンキング, チームワーク)には、情報教育によって育成される力も少なくありません。また、この社会人基礎力は、大学での教育だけでなく、初等・中等教育を含めた段階からの育成が必要です。再び就職氷河期を迎えている今、初等教育から高等教育に亘る情報教育の中で、社会人基礎力育成およびICT活用能力の育成の観点から、情報教育のカリキュラム・方法・実践をテーマに研究会を開催することは意義深いと考えます。

第6回研究会は、24件の発表が行われ、80名の方にご参加いただき、各会場とも熱心に議論が行われました。また、平行して特集研究会も開催され、のべ149名(実質126名)の方が参加されました。

また、本研究会は関西支部との共催で行われました。関西支部長の中西先生はじめ会場校の先生方、学生諸君に大変お世話になりました。座長の多くも関西支部会員の方に務めていただき、多数の会員にご参加いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

プログラム

1. 実例から見た韓国のデジタル教科書活用授業の様子
○孔泳泰(晋州教育大学)
2. 臨床検査技師養成校情報科学教育においてスマートフォン, iPadを用いた医療用アプリをどのように教育すべきか?
○神崎秀嗣(京都大学・京都保健衛生専門学校)
3. 体験学習における知識増幅を目的とした体験履歴比較支援
○村瀬拓弥(電気通信大学), 柏原昭博(電気通信大学)
4. インクルーシブデザイン手法に基づいたユニバーサル・パペット・シアターの予備的評価—大学生の健常者を対象として—
○江草遼平(神戸大学), 和田久美子, 楠房子(多摩美術大学), 生田目美紀(筑波技術大学), 稲垣成哲(神戸大学), 溝口博(東京理科大学)
5. 情報科教育法における協調自律学習を取り入れた授業設計(3)
○高橋朋子(武庫川女子大学), 望月紫帆(特定非営利活動法人学習開発研究所)
6. 講義映像と講義ノートを利用した復習用教育教材システムの構築
岡将史(奈良大学), ○正司哲朗(奈良大学)
7. ブレンド型授業の設計支援システムの開発—授業計画作成機能について—
○清水隼人(岡山理科大学), 宮地功(岡山理科大学)
8. 技術イノベーションを主題とするビデオとオンラインレポートを活用した授業実践の評価
○仲林清(千葉工業大学)
9. ITパスポート試験に対応した情報科目の実践
○宮川祐一(仁愛大学)
10. 情報リテラシー科目「情報処理入門」における復習課題による繰り返し学習
○丹羽量久(長崎大学), 藤井美知子(長崎大学)
11. 全学共通科目でのPC操作法と情報活用力の教育法に向けた考察
○酒井浩二(京都光華女子大学), 阿部一晴(京都光華女子大学)
12. 文科系大学生の仮説検証力向上に向けたシミュレータソフトartisoの活用
○畑圭輔(株式会社構造計画研究所), 森俊勝(株式会社構造計画研究所), 池田誠(東洋大学)
13. 大学カリキュラムの学修指導にキャリア形成を統合した教育支援システムの構築
○吉根勝美(南山大学), 磯本征雄(名古屋女子大学), 長谷川信(岐阜聖徳学園大学短期大学部)

14. モバイル機器によるキャリア教育への支援 (2)
○坂口直之 (千里金蘭大学), 高橋参吉 (千里金蘭大学)
15. 既存授業内における社会人基礎力育成の試行
○神谷勇毅 (至学館大学)
16. 大卒生採用における能力識別に関する一考察
○柳田明子 (東北工業株式会社), 村上英樹 (神戸大学)
17. Flash 3D を用いたプログラムの関数呼出し可視化システムの構築
○韓根鎖 (香川大学), 香川考司 (香川大学)
18. 類似経験ログ抽出による就職活動用エピソード想起支援システム
○村田遼 (関西大学), 小尻智子 (関西大学)
19. 電子討論を導入したグループ学習におけるリーダーの指示の効果
○日下靖之 (広島市立大学), 川本佳代 (広島市立大学)
20. 学内におけるマルチメディア教材の学習環境構築に関する実験報告
○小柏香穂理 (山口大学), 浜本義彦 (山口大学)
21. 理数に卓越した児童向けのフローチャートを活用した論理的思考力育成システム
○出口直輝 (広島市立大学), 川本佳代 (広島市立大学)
22. 人間関係ネットワークを基盤とする作問学習支援システムの開発
○田中頼人 (早稲田大学)
23. iBooks によるデジタル教科書の機能と利用可能性
○篠原 駿 (上智大学), 上原雅貴 (上智大学), 田村恭久 (上智大学)
24. スマートフォンとシミュレーションゲームを用いた森林学習支援システムの評価
○井上晴香 (神戸大学), 楠房子 (多摩美術大学),
武田義明, 山口悦司, 稲垣成哲 (神戸大学)

教育システム情報学会(JSiSE) 2011 年度特集論文研究会 報告

開催担当 松居辰則, 小西達裕 (研究会委員会/学会誌編集委員会), 林雄介 (学会誌編集委員会)
会場担当 中西通雄, 安留誠吾, 藤井研一, 深海悟 (大阪工業大学)

テーマ: ICT の高度化による先進的学習支援に向けて -技術と人間の共生を目指して-

- 開催日: 2012年3月17日 (土曜日)
- 会場: 大阪工業大学 枚方キャンパス(大阪府枚方市北山1-79-1)
- 共催: 教育システム情報学会関西支部

特集論文研究会は、2011年3月17日に大阪工業大学枚方キャンパスにおいて第6回研究会(テーマ: 情報教育と社会人基礎力/一般)と共同開催されました。今回は、「ICTの高度化」, 「メタ認知, スキルサイエンス, Affective Learning」をキーワードにしつつ, 「先進的な学習支援(人間中心, 人間と技術の共生)」を志向した理論・技術(システム開発, コンテンツ開発を含む)・実践に関する発表を広く募集いたしました。結果として, 24件の発表が行われ, 69名の方にご参加いただき, 各会場とも熱心に議論が行われました。

また, 平行して開催された第6回研究会とも相互に参加が自由となっており, 二つ合わせると, のべ149名(実質126名)の方が参加されました。

この特集論文研究会は他の研究会とは異なり, 2012年度の学会誌特集号への投稿を促進することを目的とし, 前年までと同様に, 特集号と同じテーマで発表を募集すると共に, 希望者には研究会委員会と編集委員会からのコメントの提供を行いました。このコメントは発表後に手渡されました。また, 本特集論文研究会のもう一つの特徴は十分な質疑応答時間の確保です。前述の研究会委員, 編集委員からのコメントだけでは無く, 研究会当日に参加者のからから様々な質問やコメントを受けることによって, 研究を発展させて, よりよい論文を執筆していただくことを目指しています。今回は先進的学習支援に向けた神経科学や認知心理学によく基礎的な考察からLMSやeラーニングコンテンツの設計といった応用的なものまで幅広がったのですが, 各セッションでは通常よりも長いディスカッションの時間を十分に利用して各発表で活発な議論が展開され, 発表によっては20分の質疑応答時間でもまだ足りないということもありました。各発表者にとっては特集号への投稿の弾みになったと思われますし, 来年度の特集号が質的にも量的にもとても充実したものになることを予感させる研究会となりました。

プログラム：

1. 計算課題遂行時における教師－学習者間の神経科学的検討
○岡本尚子（日本学術振興会/京都大学），黒田恭史（佛教大学），前迫孝憲（大阪大学）
2. ゲームニクスによる人間中心デザインの教員用LMSユーザインタフェースの実装
○井ノ上憲司、鈴木克明（熊本大学）
3. 文字または音声による設問の判断への影響
-助詞「は」や「を」を含む課題文に対する判断時間からの一検討-
○辻岡圭子（大阪大学），辻岡千春（日本心理テスト研究所），前迫孝憲（大阪大学）
4. 習熟度別教材と個別学習メモを用いたWeb学習支援機能の開発
○宇佐美裕康（中部大学），杉村藍（名古屋女子短期大学），アディカリ・チョレンドラ，足達義則，尾崎正弘（中部大学）
5. 学術本推薦・検索のためのユーザーレビューと目次を用いた学術本の難易度推定手法の提案
○中山 祐輝，南保 英孝，木村 春彦（金沢大学）
6. 自らのコース設定を通じた自律学習を支援する教材推薦手法の一提案
○長谷川 理，山川 広人，小松川 浩（千歳科学技術大学）
7. PCN法による自己評価コメントの分析からの改善可能な学生の発見
○合田和正（九州情報大学）、峯恒憲（九州大学）
8. メタ学習支援のための学習記録推薦システムの提案
○北田 努，小尻智子（関西大学）
9. 別解作成によるデザインパターン形成の追体験支援システムの開発
○大江洋希，小尻智子（関西大学），瀬田和久（大阪府立大学）
10. スマートフォン、iPadの医療系養成校への適用の試みと医療系アプリの情報科学教育への導入の試み
○神崎秀嗣（京都大学/京都保健衛生専門学校）
11. 初心者のケアプランに対する熟達者の指摘コメントの分析による教授方略の抽出
○江藤 香（日本工業大学），岡本敏雄（電気通信大学）
12. 研修医向け診断推論学習用eラーニング教材の開発
○古谷 将，松永信介，稲葉竹俊（東京工科大学）、Brian Heist（University of Pittsburgh）
13. 認知ツールを用いた学習スキルアップのためのFadable Scaffolding手法とその評価
○伊藤真，柏原昭博（電気通信大学）
14. EBS におけるメタ認知活動「抽象化操作」
○茅島路子（玉川大学），平嶋宗（広島大学），東本崇仁（東京理科大学），溝口理一郎（大阪大学）
15. 思考外化と知識共創によるメタ認知スキル育成プログラムの開発
○瀬田和久（大阪府立大学），崔亮，池田満（北陸先端科学技術大学院大学），松田憲幸（和歌山大学）
16. 学習者特性適応型協調スクリプトの提案とCSCLシステムの構築と評価
○高橋秀二，安藤公彦，稲葉竹俊（東京工科大学）
17. 発言役割の動的抑制による議論活性化支援
○郷かをり，竹中正幸，田村恭久（上智大学）
18. CSCLにおける発言主文の明確化による議論支援
○中村 諒，田村恭久（上智大学）
19. フロー理論に着目した学習教材・学習環境の再設計支援ツールの評価
○加藤 泰久（NTTラーニングシステムズ/熊本大学），鈴木克明（熊本大学）
20. ストーリー型eラーニングの設計を支援する魅力分析ツールの開発
○柴田喜幸（熊本大学/産業医科大学）、鈴木克明（熊本大学）
21. 光トポグラフィーを用いたWeb-Based英語テストにおける背景色効果についての検証
○山崎敦子（芝浦工業大学），松居辰則（早稲田大学）
22. エージェント・ベース・シミュレーションを用いた教員配置問題の分析
○矢野雄大，神澤篤啓，山田隆志，吉川厚，寺野隆雄（東京工業大学）
23. IT技術者育成のためのクラウドコンピューティング基盤
○横山 重俊（国立情報学研究所），桑田 喜隆（NTTデータ），吉岡 信和（国立情報学研究所）
24. ソフトウェア開発PBLにおけるプロジェクトの可視化に基づく適応的な指導の実現
○福安直樹（和歌山大学），佐伯幸郎（高知工科大学），水谷泰治（大阪工業大学），井垣宏，眞鍋雄貴（大阪大学）

■□■□■□■ JSiSE 2012 年度 研究会年間予定表 ■□■□■□■

日 時	テ ー マ / 会 場	担 当
第 1 回研究会 日 程： 2012 年 5 月 18 日(金) 19 日(土)	場 所：放送大学 テーマ： e ラーニング環境のデザインと組織マネジメント/ 医療・看護・福祉分野における ICT 利用教育／一般	仲林 清 真嶋由貴恵 松居辰則 加藤泰久 北村士朗 櫻井良樹
第 2 回研究会 日 程： 2012 年 7 月 14 日(土)	場 所：北海道大学 テーマ： ICT を活用した学習支援と教育の質保証／一般	小松川浩 野崎浩成 布施 泉 不破 泰
第 3 回研究会 日 程： 2012 年 9 月 8 日 (土)	場 所：香川大学 幸町キャンパス研究交流棟 (予定) テーマ： 続^2・教育機関等連携を支援する 教育システムの設計・構築・運用／一般	林 敏浩 小西達裕 安間文彦
第 4 回研究会 日 程： 2012 年 11 月 10 日 (土)	場 所：和歌山大学 テーマ： スキル学習とその支援技術／一般	曾我真人 柏原昭博 小尻智子 長谷川忍
第 5 回研究会 日 程： 2013 年 1 月 12 日 (土)	場 所：東北大学 テーマ： ネットワークコンピューティングと これからの教育・学習環境／一般	佐々木整 三石 大 妻鳥貴彦
第 6 回研究会 日 程： 2013 年 3 月 16 日 (土)	場 所：山口大学 (吉田キャンパス) テーマ： 教育の情報化と情報教育／一般	松永公廣 西野和典 西端律子 鷹岡 亮
特集論文研究会	未定	未定

■ JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
この機会にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

■ 年間購読料 4,000円／年6回発行<送料込>

◆◇ 研究報告バックナンバーのお求めは ◇◆

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300円(送料共)です。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp

URL : http://maf.mycom.co.jp

論文特集 Call For Paper (Ver. 3.0)
ICT の高度化による先進的学習支援に向けて
-技術と人間の共生を目指して-

ICT (Information Communication Technology) の高度化により、学習・教育におけるコンピュータ利用の方法や形態にも新たな可能性が生まれてきています。高機能化、小型化(携帯化)された PC、高速なネットワークやモバイル環境、様々なセンサーを用いた詳細な行動データの取得技術などを応用することにより、従来ではなし得なかった新しい学習・教育支援が可能になり、様々なシステムやコンテンツの開発、ユニークな実践が数多く報告されています。一方、技術の高度化において人間がその恩恵を正當に受けて豊かな環境を構築するためには「人間中心」、「人間と技術の共生」という視点が今まで以上に重要になってきます。そこで、本論文特集では、技術による学習・教育支援の中で、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにして、ICT の高度化による先進的な学習支援(人間中心、技術と人間の共生)に関する挑戦的、未来志向の研究・開発・実践に関する論文を募集いたします。これらの分野に関する多種多様な対象と方法論の知見を共有することにより、この分野の更なる発展と現実世界への貢献の可能性を探ります。

1. 対象分野

「ICT の高度化」、「メタ認知、スキルサイエンス、Affective Learning」をキーワードにしておりますが、「先進的な学習支援(人間中心、人間と技術の共生)」を志向した理論・技術(システム開発、コンテンツ開発を含む)・実践に関する論文を広く募集します。例えば、次のようなテーマが想定されます。先進的学習支援のための学習者モデル・教授戦略、センサー・計測機器を用いた学習者の行動情報による評価方法や心理状態の推定手法・推定モデル(メンタリング、Affective Learning)、学習スキルの分析と学習支援、スキル(身体性を伴う行動や知識)の獲得支援とコンテンツ開発、学習者の心理状態推定のための知識記述・管理手法(オントロジー)、メタ認知モデルに基づいた教材開発や実践、新しい評価方法 など。

2. 論文種別

すべての種別の論文(原著論文、実践論文、ショートノート、実践速報)を募集します。なお、査読結果により、投稿時とは異なる種別での採録となる場合もあります。また、特集号編集委員会の判断で、一般投稿論文として扱う場合もあります。なお、本特集号では美濃導彦先生(京都大学)、平嶋宗先生(広島大学)、曾我真人先生(和歌山大学)、松原行宏先生(広島市立大学)による招待論文(依頼論文)を掲載します。

3. 投稿要領

一般の論文投稿規定(教育システム情報学会学会誌執筆規定)に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。以下、Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- すべての方へ:「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集研究会(2012年3月17日(土) 於;大阪工業大学(枚方キャンパス))で発表を行った方へ: 投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集研究会での発表題目と発表番号を記載してください。また、特集研究会においてコメントを希望された方々は、論文投稿の際にコメントに対する著者らの対応や考え方を文書にて提出することができます。

4. スケジュール

投稿原稿〆切:2012年4月27日(金)

掲載予定巻号:2013年1月1日発行予定の学会誌(Vol.30, No.1)

5. 特集号編集委員会

委員長:仲林清(千葉工業大学) 副委員長:松居辰則(早稲田大学)、小西達裕(静岡大学)

特集幹事:林雄介(名古屋大学)、小島一晃(早稲田大学)

委員:学会誌編集委員+特集編集委員(大西仁(放送大学)、井上智雄(筑波大学)、椋木雅之(京都大学))

6. 問い合わせ

- 特集号全般に関する問い合わせ:

特集号編集委員会幹事 林 雄介(名古屋大学 E-mail: hay@icts.nagoya-u.ac.jp)

- Web 投稿に関する問い合わせ:

教育システム情報学会編集事務局(電話:03-5389-6492 E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-4-19 株式会社国際文献印刷社 長澤

Call for Papers

The Journal of Information and Systems in Education, Vol. 11

JSiSE (Japanese Society for Information and Systems in Education) has published *The Journal of Information and Systems in Education* annually since 2002. The editorial committee of the journal welcomes submissions of articles for volume 11 of the journal.

Computers and network communications technology, which are the bases of information technology (IT), have infiltrated various aspects of education, including styles of teaching and learning activities. Elementary, higher, enterprise, and lifelong educational institutions are incorporating various kinds of IT equipment in synchronous and asynchronous learning. Many advanced companies have identified that “e-learning” frameworks are very important to their employees in order to acquire knowledge and skills depending their jobs. In these developing environments for e-learning, learning technology research and contribution are getting increased attention for effective and successful e-learning. Although research in this area has continued for over 50 years, it remains one of the most critical issues for learning activities today.

The Journal of Information and Systems in Education aims to spread outstanding research and practice results in the field of learning technology to professionals all over the world. To contribute the progress of learning technology research and practice, researchers and practitioners are encouraged to submit their advanced results in the topics below.

Scope:

The topics of papers includes, but are not limited to:

- Learning technology systems: infrastructure, frameworks, architectures, etc.
- Methodology and pedagogy of e-learning: collective, instructional, collaborative, etc.
- Administration, maintenance, and evaluation of e-learning activities
- Core technology related to learning technology: database, artificial intelligence, etc.
- Sciences related to learning technology: cognitive science, educational psychology, etc.

Important Dates:

The first submission deadline: March 31, 2012

The second submission deadline: June 6, 2012

Instructions for Authors:

Please refer to the “Authors Instruction” in the JSiSE Web site below in preparing manuscripts for submission.

http://www.jsise.org/e_journal/ejournal.html

Paper Submission:

Authors must submit their papers through the web submission system at:

https://www.wdc-jp.biz/jsise/journal_e/applicant/login.html

Publication:

Vol. 11 will be published on the J-STAGE Web site (<http://www.jstage.jst.go.jp/>).

Accepted papers will appear in the journal immediately after their acceptance.

The paper journal will be published in February 2013. (tentative)

Contact Address:

JSiSE International Journal Editorial Office

E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp

国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

2012年11月開催

●ICCE 2012: The 20th International Conference on Computers in Education

開催期間: November 26–30, 2012

開催地 : Singapore, Singapore

URL: <http://isl.nie.edu.sg/icce2012/>

論文投稿スケジュール: Full/ Short/ Poster papers submission deadline: May 14, 2012 (募集中)

2012年10月開催

●ACMMM2012: The 20th ACM International Multimedia Conference

開催期間: Oct 29 – Nov 2, 2012

開催地 : Nara, Japan

URL: <http://www.acmmm12.org/>

論文投稿スケジュール: Full paper submission (abstract): Apr 2, 2012 (募集中)

Full paper submission (manuscript): Apr 9, 2012

Short paper submission: Apr 9, 2012 (募集中)

●ECEL-2012: 11th European Conference on e-Learning

開催期間: October 26–27, 2012

開催地: Groningen, The Netherlands

URL: <http://academic-conferences.org/ecel/ecel2012/ecel12-call-papers.htm>

論文投稿スケジュール: Abstract submission deadline: April 7, 2012 (募集中)

Full paper due for review: May 26, 2012

●E-LEARN 2012

開催期間: October 9–12, 2012

開催地: Montreal, Quebec, Canada

URL: <http://www.aace.org/conf/elearn/>

論文投稿スケジュール: Call for Participation: Due May 25th, 2012 (募集中)

●FIE 2012: 2012 Frontiers in Education Conference

開催期間: October 3–6, 2012

開催地: Seattle, Washington, USA

URL: <http://fie2012.org/>

論文投稿スケジュール: Abstracts Due: January 31, 2012

Papers Due: July 1, 2012

2012年9月開催

●KES 2012: 16th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems

開催期間: September 10 – 12, 2012

開催地: San Sebastian, Spain

URL: <http://kes2012.kesinternational.org/>

論文投稿スケジュール: Submission of papers: March 1, 2012

- ICWL 2012: The 11th International Conference on Web-based Learning
開催期間: September 2 – 4, 2012
開催地: Sinaia, Romania
URL: <http://www.hkws.org/conference/icwl2012/>
論文投稿スケジュール: Abstract submission deadline: April 18, 2012 (募集中)
Paper submission deadline: April 25, 2012

2012年8月開催

- CogSci 2012: The 34th annual meeting of the Cognitive Science Society
開催期間: August 1 – 4, 2012
開催地: Sapporo, Japan
URL: <http://cognitivesciencesociety.org/conference2012/index.html>
論文投稿スケジュール: Initial submissions closed: February 1, 2012

2012年7月開催

- COGNITIVE 2012, The Fourth International Conference on Advanced Cognitive Technologies and Applications
開催期間: July 22–27, 2012
開催地: Nice, France
URL: <http://www.iaria.org/conferences2012/COGNITIVE12.html>
論文投稿スケジュール : Submission Deadline: March 16, 2012
- IADIS International Conference e-learning 2012
開催期間: July 17–20, 2012
開催地: Lisbon, Portugal
URL: <http://www.elearning-conf.org/>
論文投稿スケジュール : Submission Deadline: January 23, 2012
- 11th UMAP 2011: The 20th conference on User Modeling, Adaptation, and Personalization
開催期間: July 16–20, 2012
開催地: Montreal, Canada
URL: <http://umap2012.polymtl.ca/en/>
論文投稿スケジュール : Research and Industry papers abstracts: January 17, 2012
Research and Industry full papers: January 24, 2012
- The 2012 International Conference on e-Learning, e-Business, Enterprise Information Systems, and e-Government (EEE'12)
開催期間: July 16–19, 2012
開催地: Las Vegas, USA
URL: <http://world-comp.org/>
論文投稿スケジュール : Submission of full papers: March 12, 2012
- FECS'12: The 2012 International Conference on Frontiers in Education: Computer Science and Computer Engineering
開催期間: July 16–19, 2012
開催地: Las Vegas, USA
URL: <http://www.world-academy-of-science.org/>
論文投稿スケジュール : Submission of full papers: March 12, 2012

2011年度(2012年3月開催) JSiSE学生研究発表会 参加者数・発表者数 開催結果

渉外・活性化委員会

JSiSE 学生研究発表は、JSiSE 関西支部が 26 年前から毎年開催を続けてきた「学生研究発表会」を 5 年前に全国規模に拡大したものです。

今回は全国 9 地区で開催し、学部学生、大学院生、留学生の皆様などから 97 件のご発表をいただき、来場者総数は 324 名となりました。JSiSE には、夏の全国大会や、研究会という発表機会も用意されていますが、初めて発表される学生の皆様には少し敷居が高いかもしれません。そのような学生の皆様に、気軽に、しかも交通費もあまりかからない地元での発表の機会を設けようというのが開催の主な趣旨です。将来、研究者になるかどうかは別として、大学や大学院を卒業するタイミングに、このような研究発表会で発表することは本人の一生の思い出となり、自信にもつながると考えます。この意味で JSiSE の社会貢献にも繋がる意義のある活動であると考えます。

開催地区	開催場所 開催日	実行委員長	発表件数(件)	来場者数(名)
北海道	千歳科学技術大学 3月14日(水)	千歳科学技術大学 小松川 浩	6	62
関東	八王子学園都市センター 3月9日(金)	拓殖大学 佐々木 整	6	21
北信越	信州大学長野(工学)キャンパス 3月9日(金)	金沢大学 松本 豊司	16 (内ポスター7)	39
東海	名城大学 名駅サテライト MSAT 3月13日(火)	名城大学 山崎 初夫	16 (内ポスター1)	42
関西	関西学院大学大阪梅田キャンパス 3月10日(土)	甲子園大学 梶木 克則	20 (内ポスター6)	48
中国	岡山大学 3月5日(月)	岡山大学 笠井 俊信	15	30
四国	香川大学 工学部 3月8日(木)	香川大学 林 敏浩	5	23
九州	九州工業大学情報工学部 3月2日(金)	九州工業大学 国近 秀信	9	31
沖縄	琉球大学 3月2日(金)	琉球大学 黒田 登美雄 (連絡窓口 谷口 祐治)	4	28
合計			97	324

過去開催記録	2010 年度	104	318
	2009 年度	89	281
	2008 年度	60	188

2011年度(2012年3月開催)JSiSE 学生研究発表会
受賞者リスト

地区	所属 学年	氏名	発表題目	授賞名
北海道	岩手県立大学 学部4年	武田秀太	スキル向上要因抽出が可能なeポートフォリオシステムの開発	優秀賞
関東	早稲田大学 学部4年	田和辻可昌	エージェントに対する情報の変化が人間らしさに与える影響	優秀賞
	電気通信大学大学院 修士2年	吉村優一	書籍推薦を目的とした読者レビューからの評価視点と評価値の推定	優秀賞
北信越	長岡技術科学大学大学院 修士2年	斯日貢	モンゴル人学習者を対象とした日本語学習法の改善 -文法対比型学習法の提案-	優秀賞
	信州大学大学院 修士1年	村松竜	簡易マインドマップからみる情報通信ネットワークに対する高校生の認識実態	優秀賞
	北陸先端科学技術大学院大学 修士2年	岡田昌也	キーワードセットに基づく検索・提示システムの設計 -就職活動に適用する場合-	優秀ポスター 発表賞
	金沢工業大学大学院 修士2年	上野修平	モバイル環境に対応したプロジェクト型教育支援システムの構築	優秀ポスター 発表賞
東海	名古屋大学 学部4年	田淵義宗	ニュース調べもの学習における関連記事の時間的変移に基づいた探索	優秀賞
	名古屋大学 学部4年	稲葉鉄平	学習指導案の意味的検索のための授業の設計意図のモデル化	優秀賞
	名古屋大学 学部4年	高山宏規	教師間の知識共有のための授業意図の可視化環境の構築	優秀賞
	豊橋技術科学大学大学院 修士2年	森拓郎	調音特徴抽出に基づく発音マップの英語発音リアルタイム表示	優秀賞
関西	熊本県立大学 学部3年	村上英恵	熊本市内の小学生を対象とした防災意識・知識の向上を目的とする事前学習サイトに関する検討	優秀賞
	大阪府立大学 学部4年	谷口雄紀	気づきの交換・共有による生徒理解のための議論活性化支援システムの開発	優秀賞
	奈良工業高等専門学校 学科5年	久保陽一郎	CubeSatプロジェクトのための衛星データのリアルタイム配信とオンライン共有に関する研究	優秀賞
	大阪工業大学 学部4年	中川玄	コンピュータビジョンを用いた運動解析ソフトウェアの開発 -物理教育への応用-	優秀賞
	近畿大学 学部4年	井手勝也	タブレット端末を用いた講義用ドローイングシステムの試作と評価	優秀ポスター 発表賞
	大阪工業大学 学部4年	主原佑記	Arduinoを利用した初学者向けプログラミング学習教材 Eduino	優秀ポスター 発表賞
中国	広島市立大学大学院 修士1年	玉谷栄教	複数奏者のための和音チューニング支援手法の検討	優秀賞
	広島市立大学 学部4年	三浦浩平	基本位置3和音の上3声配置課題のための学習支援システム	優秀賞
	広島大学 学部4年	武智俊平	学習者に個別対応可能な漸進的問題演習の実現	優秀賞
四国	高知大学 学部4年	渡邊悠人	プレゼンテーション・リハーサルにおける視覚的なスライド・アニメーションに基づくレビュー支援方法	優秀賞
	香川大学大学院 修士1年	裏和宏	動的な科学現象の理解支援のためのアニメーション作成システム	優秀賞
九州	佐賀大学 学部4年	井上朋美	書字困難児を対象とした漢字手書き学習システムの改良 -データベースを用いた漢字追加機能の実装-	優秀賞
	千葉工業大学 学部4年	中村悟大	小規模グループにおける情報共有を目的としたコミュニケーションツールの構築	優秀賞
沖縄	琉球大学 学部4年	桑江真妃	携帯型情報端末を用いた聴覚障がい者とのコミュニケーションシステムについての提案	優秀賞

新入会員の紹介

下記の皆様方が、新しくご入会されました。

●新入会正会員・準会員

2012/2～2012/3

会員番号	名前	所属機関	所属部署	推薦者	会員種別
JSiSE-A1103138	溝渕昭二	近畿大学	理工学部情報学科		正会員
JSiSE-A1103139	田窪美葉	大阪国際大学	ビジネス学部経営デザイン学科		正会員
JSiSE-A1103140	幾度貴恵	武庫川学院	情報メディア学科	野村典子	正会員
JSiSE-A1203144	島添 彰	大阪府立大学	理学部情報数理科学科	瀬田和久	準会員
JSiSE-A1203141	河野賢一	東北大学	情報科学研究科		準会員
JSiSE-A1203142	谷口雄紀	大阪府立大学	理学部情報数理科学科	瀬田和久	準会員
JSiSE-A1203143	蔵田李沙	大阪府立大学	理学部 瀬田研究室	瀬田和久	準会員
				正会員	3
				準会員	4

★★年会費納付のお願い★★

2012年度年会費の請求書を発送いたしました。納付期限は、2012年8月末とさせていただきます。期日までにご入金くださいますようご協力をお願いいたします。前年度以前の未納金が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。また、未納が3年度分を過ぎますと、規約により除名手続きを進めさせていただくこととなります。未納のある会員様は事務局までご連絡をいただければ、期日を過ぎましても受け付けておりますので宜しくお願い致します。ご不明な点がございましたら、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

JSiSE 事務局 E-mail : secretariat@jsise.org

※ご登録いただいております情報に変更がございましたら、変更届を事務局までご連絡ください。ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。

◎振込先◎

◎年会費のご案内◎

■銀行名 : ゆうちょ銀行 支店名 : 019 店
 ■当座預金 : 0709632 ※電信振替 : 00180-6-709632
 ■口座名義 : 教育システム情報学会

■銀行名 : 池田泉州銀行 支店名 : 上新庄支店
 ■普通預金 : 13440
 ■口座名義 : 教育システム情報学会 家本 修

■正会員 : 7,000 円
 ■準会員 : 4,000 円
 ■企業・団体会員 : 50,000 円
 ■研究報告年間購読 : 4,000 円
 ■入会金 : 1,000 円 (初年度のみ)



ニュースレターWeb化のお知らせ

ニュースレターの発行に関しまして、今日の情報化に伴い、今号をもちまして、本紙ニュースレターの紙媒体での配布を終了いたします。

引き続き、ニュースレターの発行を行います。学会ホームページでの公開となります。ニュースレター発行時に会員の皆様へは、Jnews(メーリングリスト)にて、発行のお知らせをいたしますので、学会ホームページでの閲覧をお願いいたします。会員の皆様には多少のご不便をおかけする事と思いますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今後とも、本学会活動にご協力いただきますよう、合わせてお願い申し上げます。

事務局長 家本 修
WWW委員会
委員長 渡辺博芳

新 入 会 員 募 集

教育システム情報学会は、教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究・調査および情報交換を支援し、教育への情報通信技術の利用を普及させることをその目的としています。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニュースレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

■お申込み方法■

入会をご希望の方は、入会申込書は学会Webページ (<http://www.jsise.org/>) に掲載しておりますので(PDFファイル)ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXか、メールにてお送りいただきますようお願いいたします。

ご入会の手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金無料・その場で、学会誌最新刊を進呈**させて頂くというキャンペーンを行っております。こちらも、合わせてご案内いただきますようお願い致します。

■学会事務局宛■

〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号
教育システム情報学会事務局 宛

TEL/FAX 06-6324-7767 Email: secretariat@jsise.org

第37回 JSiSE 全国大会のご案内

テーマ「知と学びの絆：情報システム技術でつなぐ人と社会」

<http://www.jsise.org/taikai/2012/>

■ 開催日時： 2012年8月22日(水)～8月24日(金)

■ 会場： 千葉工業大学 芝園キャンパス
(〒275-0023 千葉県習志野市芝園 2-1-1)

■ 主催： 教育システム情報学会

■ 大会日程

8月22日(水)		企業展示 ↓
午前	ワークショップ・チュートリアル	
昼	開催大学挨拶・特別講演・企業セッション	
午後	一般セッション	
夜	ウエルカムパーティ(開催校内・学生食堂)	
8月23日(木)		
午前	一般セッション	
昼	理事会・総会・招待講演	
午後	企画セッション	
夜	懇親会(海浜幕張：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>)	
8月24日(金)		
午前	一般セッション	
昼	招待講演	
午後	公開フォーラム・クロージングセッション	

(*) 大会日程は変更の可能性があります。

■ 講演・参加申込のスケジュール

大会 Web サイトから申し込みを行ってください。

投稿締め切りの後に、参加申し込みが開始されます。

発表者には、参加申し込み開始時にメールで連絡いたします。

- 2012年4月9日(月) 講演申込・投稿開始
- 2012年5月12日(土) 講演申込締切
- 2012年6月9日(土) 投稿締切
- 2012年6月11日(月) 参加申込開始
- 2012年7月21日(土) 参加申込締切(郵便振替)
- 2012年7月31日(火) 参加申込締切(クレジットカード)

■ 大会参加費

事前申込	当日申込
一般会員：7,000円 学生会員：3,000円 非会員（学生以外）：10,000円 非会員（学 生）：5,000円 論文掲載料：1,000円（論文一編につき）	一般会員：8,000円 学生会員：4,000円 非会員（学生以外）：11,000円 非会員（学 生）：6,000円
全国大会当日、またはそれ以前に入会手続きを行われる場合は、会員料金でお申し込みいただけます。	
[懇親会費] 一般：7,000円 学生：3,000円	[懇親会費] 一般：8,000円 学生：3,000円

参加費等の支払いの詳細は、大会 Web サイトをご覧ください。

■ 講演申込について

一般セッション、および企画セッションを募集いたします。

なお、現在実施が予定されている企画セッションは以下のとおりです。

1. eラーニング環境のデザインと組織開発・人材育成
2. ICTを活用した学習支援システムによる教育の質保証
3. 続²・教育機関等連携を支援する教育システムの設計・構築・運用
4. 次世代教育・学習環境のための新技術とユーザエクスペリエンス
5. 教育の情報化ー初等・中等教育の取り組みをうけてー
6. 先進的な学習支援環境のデザインー実現したい学習は?ー
7. 医療・看護・福祉分野におけるICTを活用した教育のデザインと実践・評価
8. 学習者の主体的、継続的、創造的な学びを支え促進するための研究と実践
9. 学生研究特別セッション ※一般公募は行いません。

■ ワークショップ・チュートリアルテーマ・オーガナイザの募集

ワークショップ・チュートリアルテーマと、そのオーガナイザを公募いたします。メールにて大会実行委員会宛 (exec2012@jsise.net.it-chiba.ac.jp) にお申し出ください(締切:4月16日(月))。詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 予稿集について

本大会より予稿集の印刷を廃止し、CD-ROM、および Web による配布とします。詳細は大会 Web サイトに掲載いたします。

■ 企業展示・広告の募集

企業展示・広告を募集いたします。メールにて大会事務局宛にお申し込みください。詳細は大会 Web サイトをご覧ください。

■ 大会事務局

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1

千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科 仲林研究室気付
教育システム情報学会 第37回全国大会 実行委員会

E-mail : jsise-desk@bunken.co.jp